

世界の電波をひきつける...

ゴールデンエイト

T-40 の魅力!

いままでになかった、ウス型2バンド T-40 は、スピーカー、バリコン始め、新しい開発部品の採用により、ウス型スタイルを創り出しました。しかも、ウスくなくても、いかに発揮する感度の冴えは、世界の電波をひきつけ、じゅうにぶんに楽しませてくれます。では、T-40 ウス型で高感度が生まれる技術的秘訣はなにか？ 今月は、この点にスポットライトを当ててみましょう。

【I】 ウス型の本体

本機はスピーカーやバリコンなど、新しい部品の開発により、特にウス型に設計すると同時に、丈夫なポリエチレンキャビネットを採用し、トランジスタポータブルラジオとしては最適の条件をそなえています。厚さは34 mmで、携帯に非常に便利です。

【II】 内蔵ロッドアンテナ

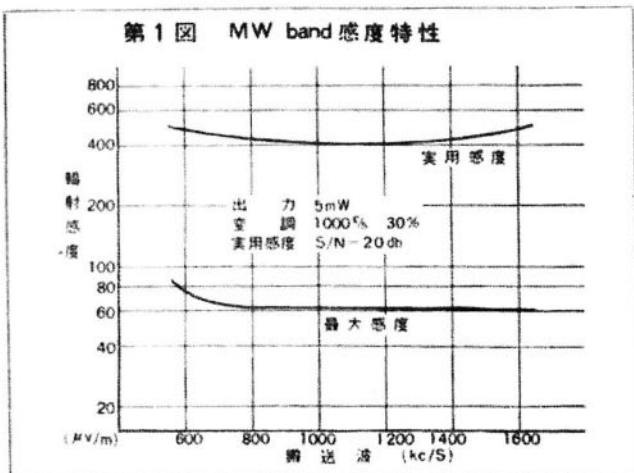
T-40 はビルトインシステム（内蔵式）のロッドアンテナを有しています。これにより、ロッドアンテナをいちいち取り付ける不便がなく、1動作でロッドアンテナを延ばすことができますので、トランジスタラジオの生命である機動性が高まりました。しかも、アンテナは太型の13段のものを用いていますので、従来のもよりもぐっと丈夫になり、遠くの弱い電波に対しても、まことに鋭い威力を発揮します。



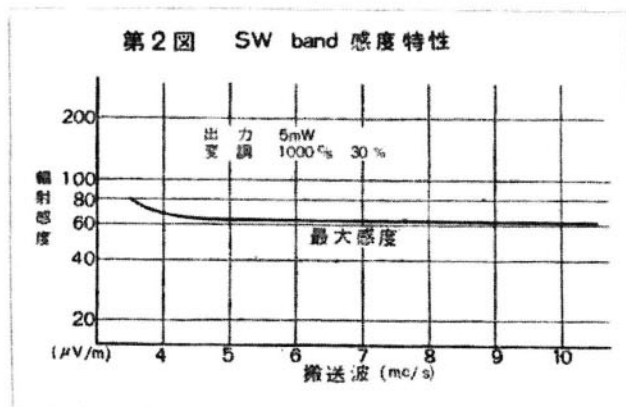
【III】 短波にも優秀な性能

感度を良くして、しかも性能を安定化させるために、特に注意が払われており、高周波回路には、ドリフトトランジスタを用いた他励式周波数変換回路を採用しています。この回路の採用により、T-40 の高周波特性はぐんと良化されました。ここには遮断周波数が、30MC~40 MCにもおよぶ優秀なトランジスタを使っていますので、中波はもちろんのこと短波においても、すばらしい感度で安定した放送を受けることができます。試みに、本機の感度特性を図示すると第1・2図のようになります。また、A.G.C回路にも、特に強くA.G.Cがかかるようになっていきますので、中波の強信号時の雑音の軽減とともに、短波のフェーディング防止に大変役立つ

第1図 MW band 感度特性



第2図 SW band 感度特性



っています。

これらの回路上の特色に加え、微調整が容易にできるように、ダイヤル駆動比を 6:1 に広げてありますので、中波の遠距離放送や短波の受信がしやすくなっています。また、中波と短波の切り替えには、小型のスライドスイッチを用いて、軽快に切り替わるようになっています。さらに、感度が優れているにもかかわらず雑音が少ない、すなわち、S/N比が良いのも大きな特徴の1つです。

【IV】 非常に少ない歪

プリアンプ1段つきの低周波回路は、B級プッシュプル出力段を有し、バリオードで温度保障をしています。しかし、この回路の特徴は、なんといつても歪の少ないことです。(第3図)

普通放送を聞くときの音量は10 mW ですが、T-40は、第3図に見られるように 10 mW のときの歪率は、約 1% (普通は 3~5%) という大変少ない値を示しています。

【V】 ウス型スピーカーの採用

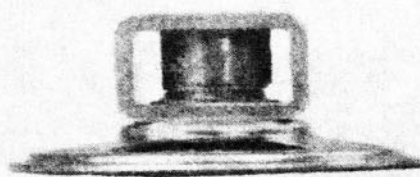
T-40 には、特に新しく設計された超ウス型 6.5 cm スピーカーを使っています(写真①)。しかし、ウス型スピーカーであっても、従来のものよりも性能が悪ければ、なんにもなりません。T-40 に使っているウス型スピーカーは、従来のスピーカーに比べて、なんら遜色のない性能を持ち、そして、優秀な回路とともに、トランジスタラジオとは思えないほど豊かな音色を持っています。

【VI】 新型電池ホルダー

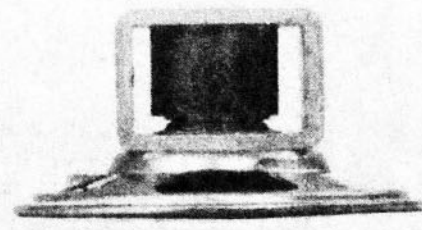
電源電池には、UM-3 (1.5 V) 4本を用います。

この電池を入れる電池ホルダーは、本機の大きな特色の1つです。従来の UM-3 を 4本使うトランジスタラジオの電池ホルダーは、いちいちセットから取り出さねばならず、大変不便でした。T-40 の電池ホルダーは、セットに固定していますので、電池の取り替えは、大変容易です。ことに、この UM-3 を 4本使用することにより、毎日 4時間連続して放送を聞いても 100時間楽しむことができます。

写真①

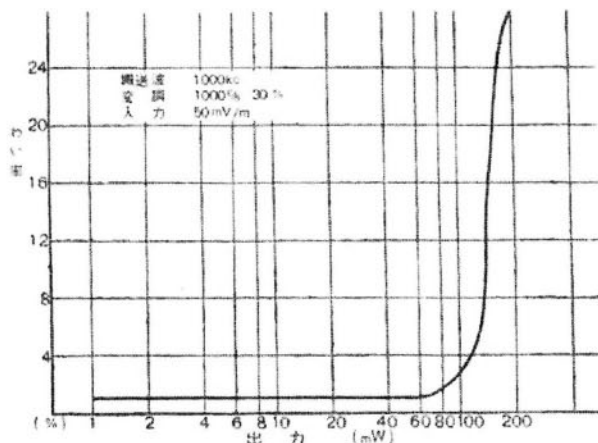


T-40に使用されたウス型スピーカー



従来のトランジスタラジオ用スピーカー

第3図 出力計わり率特性



【VII】 多くの付属品も取り付け可能

T-40 は以上の特色のほかに、外部の付属品をつけると、より優れた性能を発揮します。

1. 外部アンテナ……裏ぶたの止めねじの中央に、外部アンテナ端子がついています。もちろん、T-40は優秀なロッドアンテナと強力なフェライトコアアンテナを内蔵していますので、遠距離の放送をじゅうぶんに楽しむことができますが、より遠距離の放送を、高感度で受信するには、この外部アンテナ端子に、室内か室外のアンテナを接続すれば良いようになっています。
2. 外部電池……EXT・BATT (エキストラバッテリー) 端子に、ナショナルホーム電池ボックス (6V) を接続しますと、電池が大変経済的になり、室内でホームラジオとして用いるときには、この外部電池端子は大変有効なものになります。
3. イヤホン……イヤホン端子は 2種類ついています。1つはイヤホンのみで放送を聞くためのもの、もう1つは、イヤホンと内部スピーカーの両方で放送を聞くためのものです。この端子は、8Ωの外部スピーカーにも使用することができます。この端子に口径の大きい外部スピーカーをつなぐと、スピーカーの能率が上り経済的に聞くことができます。

× × ×

以上のように、T-40 は多くの特色を持ったセット

ですが、これらのすぐれた性能を、すべてのセットが発揮できるように、製造上多くの苦心と研究が重ねられ、性能・品質が均一化していることは、いうまでもありません。